

## 史跡 キウス周堤墓群

(読み方) しせき きうすしゅうていぼぐん

(英語) Kiusu Earthwork Burial Circles

※「Circle」が複数形であることに留意。

### 【所在地】

北海道千歳市中央

### 【年代】

紀元前 1,200 年頃 (約 3,200 年前)

### 【キャッチコピー】

高い土手で囲まれた共同墓地

### 【説明文：97字】

石狩低地帯をのぞむ緩やかな斜面に立地する高い土手を伴う大規模な共同墓地。周堤墓は、円形の堅穴を掘ってその外側に周堤を造り、内側に複数の墓を配置している。独特な墓制であり、当時の高い精神性を示す。

### 【説明文：150字】

石狩低地帯をのぞむ緩やかな斜面に立地する大規模な共同墓地。周堤墓は、円形の堅穴を掘り、掘った土を周囲に積み上げて構築され、その内側に複数の墓が配置されている。9基の周堤墓が群集し、最大のもは外径83mで、高さ4.7mに達する。独特な墓制であり、当時の高い精神性と社会の複雑化を示す重要な遺跡である。

### 【説明文：236字】

石狩低地帯をのぞむ緩やかな斜面に立地する高い土手を伴う大規模な共同墓地。周堤墓は、円形の堅穴を掘り、掘った土を周囲に積み上げて構築され、その内側に複数の墓が配置されている。キウス周堤墓群では、9基の周堤墓が群集し、現在でもその形状を視認できる。最大のもは外径83mで、周堤上面から堅穴底面までの高低差が4.7mに達する。墓には、赤色顔料がまかれたものや、墓標と考えられる立石が埋められたものもある。独特な墓制であり、当時の高い精神性と社会の複雑化を示す重要な遺跡である。